

Sparkling
JP3H53999

ジレット ティーウエーブ スパークリング ET



ダツラランド マーカス スパークリング 青和農場 所有 (岩盛)

ドリーミイ スパークリング ハンナー 津別町/柏葉 俊 氏 所有

マジヤン スパークリング 本別町/浜名 剛広 氏 所有

エンメリー スパークリング サイト 中札内村/森 清嗣 氏 所有

フォレックス アフター スパーク ショティ ET



一般社団法人
ジェネティクス北海道
GENETICS HOKKAIDO assoc.

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F ホームページアドレス <http://www.genetics-hokkaido.ne.jp>

●写真撮影/ホルスタインマガジン社
●東北事業所……………TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●関東事業所……………TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●中部事業所……………TEL(011)375-4395 FAX(011)375-4411
●道央事業所……………TEL(011)375-4422 FAX(011)375-4422

●十勝北星事業所……………TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839
●十勝南星事業所……………TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150
●道央雄牛センター……………TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330

「子牛と秋」

画:富田 美穂 HP「牛の木版画と絵画」<http://miho-tomita.jimdo.com/>

ブログ「うしのつむじ」<http://usinotumuji.blog28.fc2.com/>

発行所/一般社団法人 ジェネティクス北海道

発行人/松尾 誠之 平成27年11月16日号

Vol.415

11月

SIRE



サイア

CONTENTS

- 2 第14回 全日本ホルスタイングランプリ2015
- 5 ☆食レボ☆ Welcow アイス from なかしべつ / ET講習会合格者
- 6 現場レポート(乳)「こころ」を繋げてみんな笑顔に! ~弟子屈町「渡辺体験牧場」を訪ねて~
- 8 注目のカウファミリー 第27回 ローンリー アウトサイド ダブル EX-91
- 10 交配相談改良効果レポート~検定日速報を利用した交配相談~
- 12 第12回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会
- 14 第31回 北海道肉用牛共進会

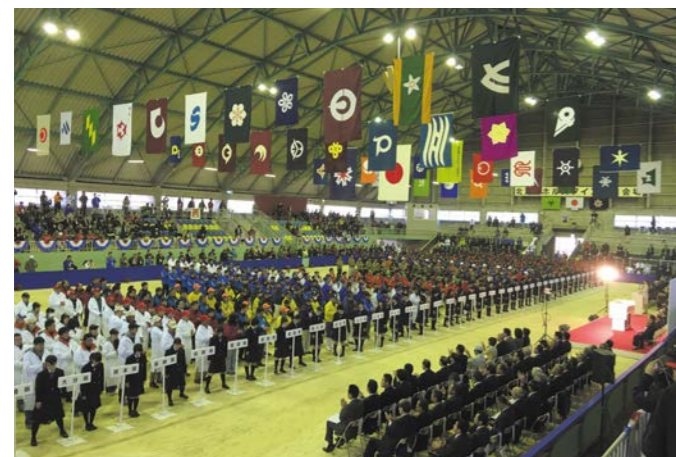
第14回全日本ホルタイン共進会 北海道大会 全日本ホルスタイングランプリ2015



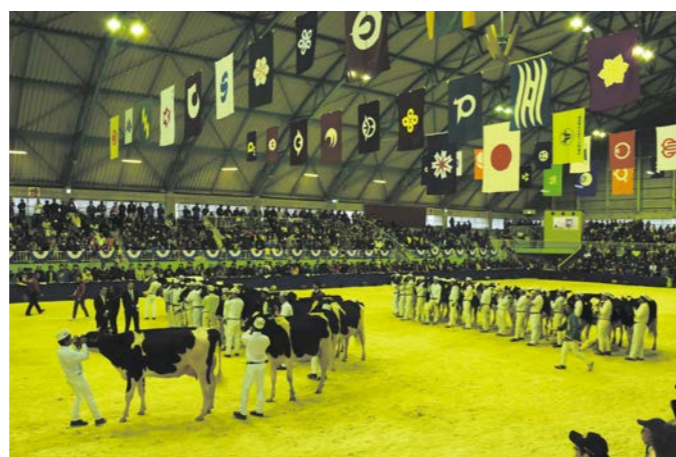
先月23日(金)~26日(月)に、国内における最大規模の酪農行事ー全日本ホルスタイン共進会は、北海道安平町で盛大に開催されました。

平成17年の栃木大会以来、10年ぶりの開催となりました第14回大会は、初めて酪農王国——北海道で開催するという事で、早くから全国の酪農業界で関心と期待に溢れ、関係者の中で話題の中心として持ちきりとなっていました。

大会開催初日の23日に、好天に恵まれ、華やかに開会式が行われました。道警音楽隊が演奏する行進曲と共に、全国各都道府県の代表者たちが順次入場し、大会の幕を開けました。地域によって参加規模に差がありますが、同じ酪農家として、誇りを持って大会を盛り上げていく気合は、参加者たちみんな同じです。いつも道内の共進会風景しか見たことがない会場内は、狭く感じるほど、リング内も観客席もぎっしりと埋め尽くされて、さすが全国大会!と実感させられました。(写真①)



写真① 開会式



写真② 審査風景

本番の比較審査は24日と25日の二日間にわたり、ホルスタイン種14クラス、ジャージー種4クラス、計18クラスで374頭が競り合いました。

言うまでもなく、出品された牛たちは、それぞれの地域で予選を勝ち抜いて、長い旅を経て会場に集まりましたが、あいにく本番の二日間は天気が悪く、寒さもひとしおで、暖地の出品者には、厳しいものでした。しかし、10年ぶりの大会なので、出品者たちは懸命に牛のコンディションを調整し、ベストを尽くして二日間を臨みました。

普段の共進会と違い、各クラスには「優等賞」、「1等賞」、「2等賞」の順で入賞順位を決め、最後に「チャンピオン」の代わりに、「名誉賞」が選ばれます。第1部、第2部、第6部と第9部の「後代検定娘牛」クラスにおいて、優等賞全部で19頭のうち、当団種雄牛の娘牛は16頭(スパークリング6頭、アイオン9頭、そしてスプラツシユ1頭)でした。とりわけ、第2部と第9部の優等賞(それぞれ5頭と3頭)は全て当団の娘牛が獲得しました。後代検定以外のクラスにおいては、第3部優等賞5席(アイオン)、第5部優等賞4席(マックス)、第3部1等賞7席(スパークリング)&8席(アイオン)、第4部1等賞4席(ブルーブラッド)、第5部1等賞6席(スパークリング)、第8部1等賞3席(スプラツシユ)、第10部1等賞3席(ネオ)、第11部1等賞4席(アイオン)などが上位入賞を果たしました。

大会三日目の25日午後、いよいよ最高位決定の瞬間が迫り、観客席や通路は、身動きが取れないほど満員になりました。途切れないカメラフラッシュの中、最高位賞は第14部名誉賞の「レイスマナー MB セレブリテイ」(北海道 天野洋一氏出品)に決定されました。また、北海道ナショナルショウでグランドチャンピオンを獲得した14歳の「レスポール レーガンスター ハーゲン」は、第14部で2席、そして準名誉賞に入賞しました。

最終日の26日には、入賞牛パレードが行われました。最高位賞を含めて、名誉賞および準名誉賞計18頭のうち、17頭は北海道からの出品で、酪農王国としての実力を存分に発揮した大会となりました。(写真③)



写真③ 閉会式 入賞牛パレード

閉会式の最後に、次回開催地を発表し、バトンタッチを行いました。第15回全日本ホルスタイン共進会は、2020年宮崎県での開催が決まりました。5年後、東京五輪の開催年にもあたり、酪農業界でも更なる飛躍を期待しましょう。



閉会式



閉会式



当団展示ブース(写真提供 ホルスタインマガジン社)

表① ジェネティクス北海道種雄牛娘牛 入賞牛

部	席	入賞	出品者	名号	父名号	出品者
第1部	2	準名誉賞	126	アミダ ファースト スパークリング サクラ	ジレット ティーウエーブ スパークリング ET	北海道 (有) 編田牧場
	3		111	TMF ウオーカーコール スパーク セスナ	ジレット ティーウエーブ スパークリング ET	北海道 (有) 田中牧場
	4		131	ピクトリア アイオン D パラダイス デイアナ	ミッドフィールド CCM アイオン	北海道 永峰勝利
	5		104	YMB ブラック サム ギブソン	ジレット ティーウエーブ スプラツシユ ET	岩手県 山火 祐司
	6		128	ロングスト ホルスター ION ゴッドサンダー ウイナー	ミッドフィールド CCM アイオン	岡山県 (有) 長恒牧場
	第2部	1		204	オークリーフ MBB ソフィア	ジレット ティーウエーブ スパークリング ET
2			219	ブライトランド HL メモリー マギー	ミッドフィールド CCM アイオン	北海道 坪井泰憲
3			218	グロリーオーサ ファーストモデル キョウト ET	ミッドフィールド CCM アイオン	京都府 京都府立農芸高等学校
4			209	ベルスマート イオニック ピスタ ET	ミッドフィールド CCM アイオン	北海道 鈴木 賢
5			214	DFD アストロ デイスオン	ミッドフィールド CCM アイオン	熊本県 大王 隆幸
第3部	5		312	カチノー ゴールド ミッド マリー	ミッドフィールド CCM アイオン	北海道 北海道帯広農業高等学校
第5部	4		511	エルムレーン V マックス メモリー	ローマンヒル ボルテージ マックス	北海道 (有) 福屋牧場
第6部	2		617	フォレックス アフター スパーク ジョディ ET	ジレット ティーウエーブ スパークリング ET	北海道 森 淑嗣
	3		613	エンメリー スパークリング ナイト	ジレット ティーウエーブ スパークリング ET	北海道 浜名剛広
	5		612	ヘンカシーン M スパークリング ヒラリー	ジレット ティーウエーブ スパークリング ET	北海道 安藤浩太郎
第9部	1	名誉賞	913	クリアデール チュンキー マーシャル アイオン	ミッドフィールド CCM アイオン	北海道 白崎紘希
	2	準名誉賞	915	センバ アイオン コンクエスト	ミッドフィールド CCM アイオン	北海道 泉波展幸
	3		906	ジョハナ ミツキー トーマス アイウエオ	ミッドフィールド CCM アイオン	北海道 三木隆志

(写真:日本ホルスタイン登録協会・全日本共進会公式サイトより)

第14回全日本ホルタイン共進会北海道大会
全日本ホルスタイングランプリ
2015

Congratulations!



最高位賞・名誉賞



1410

レデスマナー MB セレブリテイ 更別町/天野 洋一氏 出品

後代検定娘牛未経産1・2部 名誉賞



120

TLM アジー ビスタ オア ET
広尾町/佐藤 孝一氏 出品

未経産3~5部 名誉賞



321

DH チャンス メイク ET
北見市/山内 誠氏 出品

後代検定娘牛6・9部 名誉賞



913

クリアデール チュンキー マーシャル アイオン
稚内市/白崎 敏希氏 出品

経産7・8・10・11部 名誉賞



817

TMF ナディル アツト アンナ エコー
清水町/(有)田中牧場 出品

経産12部 名誉賞



1214

エッセンス ゴールド アポロ エル ダーハム ET
豊富町/栗城 一貴氏 出品

経産13部 名誉賞



1315

KWF サンチエリア ダーハム ビュー
釧路市/(株)敬和ファーム 出品

ジャージー種未経産 名誉賞



1603

クローバー クリストファー ロビン
大樹町/(株)松本牧場 出品

ジャージー種経産 名誉賞



1705

アサナベ IT フォング プリトニー
岡山県真庭市/筒井 大悟氏 出品

田代一歩が行く!! Moo飲んだ? Moo食べた?

『札幌近郊で中標津牛乳を味わえる!』
そんなアイス屋さんを皆さんご存知でしょうか?

北広島ICを降りてから三井アウトレット
モールを通り抜けた後、羊ヶ丘通りを千歳
方面に進むと間もなく左手に見えてくる
のが、この店の看板です——「Welcow
アイス from なかしべつ」(以下Welcow)!

さっそく店内に入ると沢山のウェルカム
ボードならぬ、ウェルカウボードと
オーナーの北美都里さんご夫妻が歓迎して
くださいました。Welcowはお二人で切り
盛りされており、明るく穏やかなお二人
の姿をそのまま映したかのような温かい
雰囲気の店内になっています。本棚には
様々な本と牛グッズが並んでいて、中には

「乳牛の絵本」という我々にはたまらない
本も見つけました。音威子府村出身の
アーティスト佐藤隆之さんもアイスを食べ
に訪れる度に作品を残していかれる
そうで、ペーパークラフトの昆虫は子供
だけでなく大人も楽しめます。

美都里さんは中標津の酪農家のご出身で、
計根別養老牛地区のご実家ではご両親
が約60頭の搾乳牛と共に過ごされて

います。子供の頃は牛舎のお手伝いを
しながら育ち、今でも帰省した際に
搾乳や哺乳作業を手伝うそうです。いつか
自身で飲食店を経営したいという夢を
お持ちであった美都里さんは、イタリア
料理店等で経験を積み、2008年8月つい
に念願のソフトクリーム屋さんをスタート
しました。店名の「Welcow アイス from
なかしべつ」はウェルカムとカウ(牛)を
掛けたユーモア溢れる名前であり、美都里
さんの地元愛『自身の生まれ育った土地
の牛乳をアイスとして提供したい!!』と
いう強い想いが詰まっています。

さて本題のアイスですが、Welcowで
は中標津牛乳100%のソフトクリームに
始まり、季節によって旬のジェラートを
提供しています。ショウウィンドウの中
には数種類のジェラートがあり、ご主人
が丁寧にそれぞれのジェラートの解説
をして下さいます。今時期はかぼちゃ
や梨など秋ならではのジェラートが
楽しめます。数ある中でもオススメは…
やっぱり中標津牛乳をふんだんに使った
ソフトクリームでしょう!!中標津牛乳の
風味を残したまま、濃厚でありながら

さっぱりとした後味は
絶品です!!イタリア製
マシンによって作り出さ
れるなめらかな口触り
は美都里さんのこだわりの
一つでもあります。原料
の中標津牛乳は週2回
JA中標津からお店まで
直送され、冬場でもこれ
まで一度も止まること
なく届けられている
そうです。

Welcowの人気No.1
メニューはこちらのソフト



こだわりの中標津牛乳
もちろん牛乳のままでもいただけます!



なめらかな口どけの 人気No.1のベリーパフェ
ソフトクリーム

クリームを使ったベリーパフェです。
自家製ベリーソース(ブラックベリー&
ラズベリー&ブルーベリー)と同じく
自家製のイチゴソースがソフトクリーム
と混ぜられ、ベリー好きにはたまらない
逸品になっています。他にも季節の果物
を使用したパフェも注目で、秋限定の柿
パフェは他所では見られないレアな
スイーツです。夏季限定の桃パフェはお店
に問い合わせがあるほどの人気スイーツ
とのこと。当コーナーでは語りきれない
魅力がいっぱい詰まった、何度も足を
運びたいお店でした。

皆さんも一度、『Welcow アイス
from なかしべつ』で中標津牛乳を
堪能してみてください!

「Welcow アイス from なかしべつ」
住所:〒061-1278
北海道北広島市大曲幸町3丁目4番地7
電話番号:011-788-3448
アクセス:大曲インタービレッジの
羊ヶ丘通りを挟んだ向かい側
HP URL(ブログ):http://welcow.exblog.jp/



お店の外観



牛グッズに囲まれて楽しい
ひと時を過ごせる店内



ベリーの仕入れ先の牧場を
目指したアメリカ旅行の記録も

平成27年度(第36回) 家畜(牛)体内受精卵移植に関する講習会修業試験合格者

平成27年8月18日から9月4日の間実施した「牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会」で、次の方々修業試験に合格されました。

- | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| 青木 祐歌 | 櫻井 直樹 | 千葉 隼人 | 西村 亮人 | 古谷 幸代 |
| 加賀屋雄太 | 佐々木泰浩 | 戸田 篤司 | 野竹 亮宏 | 村岡 真也 |
| 鎌田 晶帆 | 穴戸 里帆 | 長澤 好美 | 平塚可弥乃 | 山下 千果 |
| 倉田 勇平 | 庄司 智也 | 中村 綾那 | 平間 大 | |
| 齋藤 荘平 | 曾我部すみれ | 新国 大河 | 古田 純平 | |



「こころ」を繋げてみんな笑顔に!

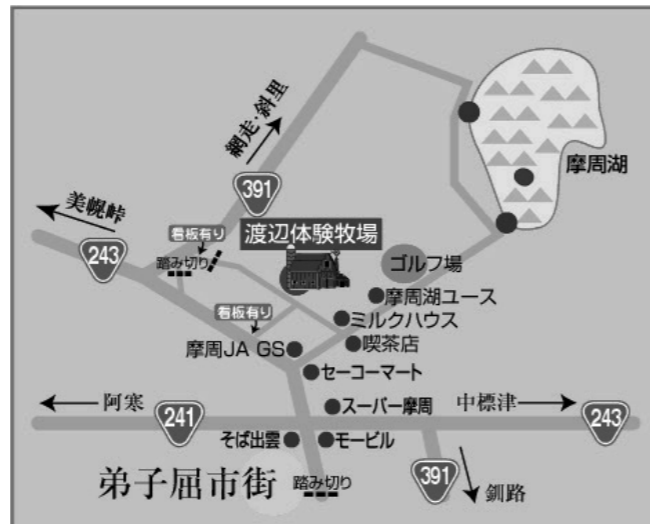
～弟子屈町「渡辺体験牧場」を訪ねて～

生産者が加工・販売まで一貫して行う第6次産業が酪農業界にも浸透してきています。乳製品の販売だけでなく、併せて様々なことに取り組まれている方々もいらっしゃいます。今回は弟子屈町で精力的に新しいことに取り組んでいらっしゃる渡辺隆幸さんにお話を伺いました。

北海道東部、神秘の湖として有名な弟子屈町・摩周湖のほど近くに年間3万人を超える来場者を受け入れている「渡辺体験牧場」があります。その名の通り乳搾りやエサやりなど乳牛との触れ合いが体験できる牧場であり、幅広い層から人気を集めています。

* 体験牧場の歩み *

現在、経営者の渡辺隆幸さんをはじめ、6人のご家族で搾乳牛53頭を飼養しています。隆幸さんが経営を委譲される少し前の昭和60年頃から牧場体験者の受け入れを始め、その後平成元年に経営者となり、『摩周酪農体験ゼミナール』として旅行会社との提携やゲストハウスの建築などを行い、本格的に体験牧場として活動を始められました。平成11年に「全国酪農教育ファーム」としての認証も取得し、年間1万人程の修学旅行生を受け入れており、多い時は1日300人以上



の酪農体験者が来られています。また、海外からの訪問客も全体の1割程を占め、リピーターも多いそうです。

* どんなことができる? *

定番の「乳搾り」や「エサやり」、または「乳製品づくり」はもちろんあります! 非常におとなしくてかわいい牛から牛乳を搾ったり、牛舎内で牛にエサをやったり、バター、アイスクリームなどを作ることができます。

その他にも数多くの体験メニューを用意しています。「子牛とのお散歩」や牛への「ブラッシング」、さ



らに「トラクターでの大草原周遊」や芝刈り機を使って「芝刈り」なども!! これらの体験はそれぞれ20分程度で体験できますし、事前申し込みがあればいくつかをセットにして、コースとして体験することも可能です。訪れた方の時間に合わせて自由に選べるのは非常に嬉しいことではないでしょうか。

* 乳製品の加工販売 *

平成20年に牛乳工場を建設し、自社ブランドで乳製品の製造と販売を始めました。ブランド名を決める際に、40種類にも及ぶ案を1つ1つ読み上げ、従業員の方に一番印象に残ったものを選んでもらったそうです。その中から一番「やさしさ」と「あたたかさ」を感じたということで決まった名前は、『牛のおっぱいミルク』!! パッケージのデザインも隆幸さんが考えたもので、一度見たら忘れられないぐらい、かわいくて印象的です。この「牛のおっぱいミルク」を使った乳製品が牧場で多数販売されています。ソフトクリームやヨーグルトは牧場で製造し、チーズやタルトサブレなどは近くの業者へ生乳を送って製造しています。



渡辺さん



* みんなが笑顔に *

渡辺体験牧場では『牛も健康、家族も元気、お客様も笑顔』をモットーに、牛を通じて心が繋がることを何よりも大事にされています。現在提供しているメニューのほとんどは訪れたお客様の「こんなことがしてみたい」「こんなものがあつたらいいな」という発想から生まれたそうで、「来ていただいたお客様の笑顔が見たい」という隆幸さんの思いが形になったと言えます。また、「役場やJA、加工品を委託製造している地元の業者など、たくさんの方々の協力があってやってこられたことを非常に感謝し、人と人の繋がりの大切さを感じました」と話されました。

牧場の裏には摩周湖の麓まで大草原が広がり、放牧された牛たちがのどかにくつろいでいました。みなさんも牛との触れ合いや笑顔を求めて、一度行ってみたいいかがでしょうか。

(道東事業所 戸田篤司)

注目のカウファミリー 第27回

ローンリー アウトサイド ダブル EX-91

写真1



今回紹介するカウファミリーは、強健性に富み好体型と高い繁殖性および長命性が特長の「ローンリーアウトサイド ダブル」ファミリーです。当ファミリーはドメインやデイーン等の著名な種雄牛を輩出していることでも有名で、ワシントン州北部のカナダとの国境沿いに位置するローンリー牧場を中心に繁栄しています。

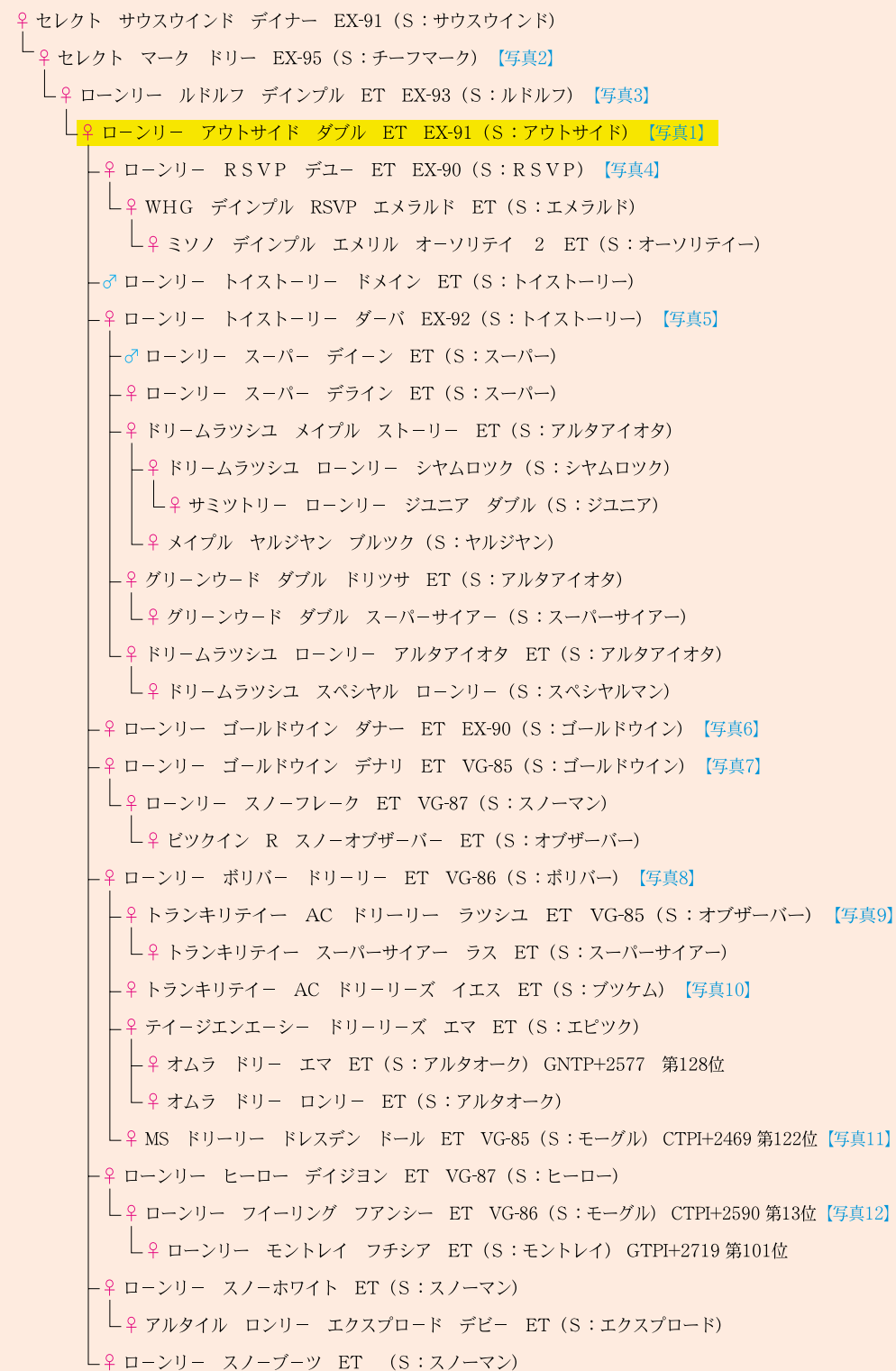
当場のオーナーのジェフ・ポリンダー氏はモンタナ州のウェス・カマーマン氏からセレクトサウスウインド デイナーを購入し、デイナーは当ファミリーの基礎牛となりました。デイナーを大変気に入ったポリンダー氏は、その後同牧場からデイナーのチーフマークによる娘牛セレクト マーク ドリー【写真2】を未経産時に購入しました。ドリーは当ファミリー最大の特徴である雄大かつ力強いフレームをもたらし、これらは今日まで子孫達に強く遺伝しています。彼女は13歳でその生涯に幕を閉じましたが、ベストレコードは365日 18,006kg 3.8F% 3.1P%を記録し、生涯生産乳量は125,000kgに達しました。

当ファミリーの名を世界的に知らしめたのがドリーの孫にあたるローンリー アウトサイド ダブル【写真1】で、当場の代表牛でもあります。彼女はアウトサイド譲りの好肢蹄を有し、質感の良い乳器も備えていました。ファミリーの特徴である好繁殖性も発揮し、これまでに150頭以上の産子を生産して、ローンリー牧場では現在53頭の彼女の娘達を搾乳しています。彼女は4代連続EXを達成し、生涯生産乳量は84,000kgを記録していますが、12歳になる現在も健在です。ゲノミック評価が始まった当初、ダブルの早期の息牛ドメインがゲノミックヤングサイアとして上位に登場したことにより、当ファミリーは世界的な脚光を浴びました。また、ドメインの全姉妹のローンリー トイストーリー ダーバ【写真5】はダブルの子孫で最高の決定得点EX-92を獲得しており、彼女の息牛デイーンは北米でも長命性と繁殖性に優れたヤングサイアとして人気を博しました。

ダブルの娘牛の中でも、更にファミリーの遺伝子を上げたのがポリヴァーによるローンリー ポリバー ドリー【写真8】で、カナダを中心に高ゲノミック評価の子孫が輩出されています。彼女は未経産時にアイオワ州のトランスキリー牧場に売られ、100頭以上の娘牛を輩出しました。幅広く強い胸底と充実した肋に加え、長い尻長と質感の優れた付着強く底面の高い乳器を持ち合わせています。彼女の孫にあたるティージェンエーシー スーパーサイア ラスは当時GLPIで第3位にランキングしており、2013年のカナダのゲノミックジャイアントホルスタインセールでC\$162,000(当時のレートで約1550万円)で売買されました。

また、今日インデックスカウとして再び頭角を現しているのがダブルのヒーローによるローンリー ヒーロー デイジョンの枝葉になります。デイジョンは2歳時にVG-87を獲得した後死亡してしまいましたが、彼女が残した7頭の雌牛の内の1頭であるモーグル娘牛ローンリー ファインシー【写真12】は北米の経産牛評価値において第13位に位置しています。ファインシーは幅があり強健性に富み、乳器の付着強くモダンな牛として、授精所との契約も結んでいるエリートカウです。

系統図



交配相談改良効果レポート



～検定日速報を利用した交配相談～

はじめに

当団では2009年(平成21年)より現行の交配相談システムで交配相談を開始して既に6年が経過いたしました。この現行のシステムは(一社)日本ホルスタイン登録協会北海道支局(以下、日ホ北海道支局)が開発したものであり、北海道内の登録取扱団体や登録農家であれば利用することが可能です。

当システムは登録による血縁情報や乳検や体型審査による評価成績、インタープルによる国際評価などを包括的に利用することが可能で、これらの情報を活用した交配相談によってより効率的な交配種雄牛の選定や牛群改良を行うことができます。

また、種雄牛選定や牛群改良だけではなく、近交回避や遺伝病発症確率の抑制、赤毛因子(RED)の発生確率なども確認することができ、更に体型審査の情報がある場合は雌牛毎に線形形質を確認したり、後肢の曲飛や乳頭配置等を改善するための矯正交配としても活用したりすることが可能です。

日ホ北海道支局や当団の調査では交配相談の結果に沿って種雄牛を交配した場合、そうでないグループと比べて効果的に牛群改良を進め、近交係数の上昇を抑制する効果があることが確認されています。^{*1}

交配相談に新たなサービスを追加

当団では平成27年4月より交配相談の新たなサービスとしてオプションを1つ追加しました。

今回、(公社)北海道酪農検定検査協会(以下、北酪検)のご協力をいただき、別途同意をいただいた農家を対

象に乳検の検定日速報のデータを取得し、交配相談の結果と連携させた新たな情報を毎月提供できるようになりました。

これは検定日速報のデータを取得後に当団で交配相談の結果と検定日速報の繁殖情報をリンクさせた一覧を作成します。この一覧は分娩後日数の小さい順番で並べられており、各雌牛には交配相談による推奨種雄牛が最大3頭まで表示されるようになっています。人工授精の必要な雌牛を探しやすくなると共に、その雌牛にどの種雄牛を付けたらよいかが一目で分かります。

また、検定日速報の「授精適期」、「妊鑑予定」、「70日NR」などの管理項目も記載されているので、注意すべき雌牛を把握でき、発情・再発等の見落としを減らすことも期待できます。

この一覧を利用していただくことで繁殖管理の効率化を図り、雌牛に適切な種雄牛を交配できるので、効果的に牛群改良を進めることにつながるのではと考えています。

利用実例のご紹介

このサービスをいち早くご利用いただいた地域の一つが伊達市農業協同組合(以下、JA伊達市)の管内です。JA伊達市は伊達市、室蘭市および登別市を区域としており、北海道の南西に位置するこれらの市は一年を通して比較的温暖で冬でも積雪量が少なく、特に伊達市は「北の湘南」と称されるほどです。南には噴火湾(内浦湾)が広がり、北には有珠山、昭和新山などの火山群、洞爺湖と雄大な自然に囲まれたこの地域は洞爺湖有珠山ジオパークとして日本で初めてユネスコによる世界ジオパークに認定されたことでも有名です。この様に豊かな自然に囲まれたJA伊達市管内では酪農畜産業、更に水産業が盛んで多種多様な農畜産、水産物に恵まれています。^{*3}

さて、毎月の検定終了後に1

日～2日程で検定日速報のデータが届きますが、届いたデータを当団内部で農家毎に処理し一覧を作成します。作成した一覧をJA伊達市の人工授精担当者の方へメール配信し、各農家へFAX等で送信する流れになっています。

この新しいサービスをご利用いただいている酪農家の方は伊達市、室蘭市にいらっしゃいますが、今回、JA伊達市管内の酪農家の方に感想などを伺う機会がありましたので、簡単に紹介させていただきます。

▶利用者の皆様の声◀

- 1 検定日速報の情報に交配相談による推奨種雄牛のリストがあるので、何を授精したら良いかすぐ分かる
- 2 1枚のシートで繁殖の状況とタネ付けする種雄牛が分かるのが良い
- 3 分娩日数の少ない順に並んでおり注意すべき牛を絞れるので妊鑑チェックや発情確認にも利用しやすいなど、ご利用いただいている農家の方々からは一様に好印象を持たれているというご意見をいただき、担当者としても安堵しております。

このサービスは始まったばかりで、まだまだ改良の余地はたくさんあると思いますが、このサービスが日々の種付け業務の一助になれば幸いです。今後も更に各方面から色々な意見を伺いながら、より良い情報の提供に努め、また新たなサービスを模索していきたいと

考えているところです。

おわりに

日常の繁殖管理や授精業務では確認・判断(発情発見、妊娠鑑定)、意思決定(授精するかどうか、何を授精するか)と同じようなことの繰り返しです。ともすれば、ルーチンワークとして深く考えることなく流れていくかもしれません。しかし、授精という行為は、妊娠、そして分娩へとつながり、雌牛にとっては1年に有るか無いかの大切な機会であり、将来、牧場経営を左右する重要なイベントであると思います。

今回ご紹介したサービスは決して派手なものではありませんが、これを利用していただくことで毎日が大きなチャンスの連続となり、繁殖と改良のベストマッチに少して近づければ、そして牛群改良の促進、収益性の向上へとつながればと考えています。

このサービス、また交配相談に関するお問い合わせは最寄りの事業所、または改良部までお気軽にご連絡ください。

最後にお忙しい中、お話を聞かせていただいた伊達市、室蘭市の酪農家の皆様、また、JA伊達市の授精師片岡様へ厚くお礼申し上げます。

(改良情報課)

*1:第70回北海道家畜人工授精師研修大会(2014)・サイアVol.412 p6-7(2015)
*2:洞爺湖有珠山ジオパークウェブサイト <http://www.toyama-usu-geopark.org/>
*3:JA伊達市ウェブサイト <http://www.ja-datashi.or.jp/index.html>

交配相談の結果表

検定日速報の帳票

NO	登録番号	基本4桁	管理	授精日	生年月日	第1推奨種雄牛	第2推奨種雄牛	第3推奨種雄牛	分娩日	初産日	初産後	最近産	最近産	最近交配年
1	9999913109	1315			H25.10.21	JP3H99999	JP3H11111	JP3H33333	17					
2	9999909659	0965			H22.4.17	JP3H99999	JP0H77777	JP3H11111	39					
3	9999910839	1083			H23.6.20	JP3H11111	JP0H77777	JP3H33333	52					
4	9999912029	1202			H24.9.8	JP3H99999	JP3H11111	JP3H33333	63					
5	9999913109	1310	授精適期		H25.8.30	JP3H99999	JP0H77777	JP3H11111	72					
6	9999913120	1312	授精適期		H25.9.11	JP0H77777	JP3H11111	JP3H33333	77					
7	9999913120	1312			H25.9.11	JP3H99999	JP0H77777	JP3H11111	85	70	16	70	16	JP3H99999

第12回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会

平成27年10月3日、第12回となる当団黒毛和種枝肉共励会が84頭(一般牛の部42頭、後代検定牛の部42頭)の出品のもと、盛大に開催されました。

本共励会の審査をお願いしております公益社団法人 日本食肉格付協会北海道支所 帯広事業所 所長 長谷川審査委員長からの総評と入賞牛講評に加え、注目されている後代検定の種雄牛について当団からご紹介いたします。

総評

「去勢の出品は52頭で、平均枝肉重量は480.1kgでした。前回は468.5kgでしたので、11.6kg大きくなっており、脂肪交雑(以下、BMS No)の平均値が7.3で、前回の6.9を0.4ポイント上回る成績となっております。全国の6.4よりも0.9ポイント上回っております。「4」等級以上の適合率(以下、上物率)は86.5%で、前回の76.5%を10.0%、全国平均72.4%を4.1%上回っております。

また、雌の出品は32頭で、平均枝肉重量は、443.6kgで前回の441.8kgより1.8kg大きくなっており、上物率は78.1%で前回は6.2%上回りました。BMS No.の平均は7.1で、前回の6.6を0.5ポイント上回る成績でした。

今回の共励会は、前回をはるかに上回る好成績となり、皆様の努力の賜物であると考えております。」

名誉賞

【名誉賞】に輝いたのは、大樹町 農事組合法人 サンエイ牧場出品の去勢牛「大樹13乃20」号でした。JB-24「北乃大福」×「平茂勝」×「安平」という血統構成で、枝肉重量485kg、ロース芯面積76cm²、ばらの厚さ9.1cm、皮下脂肪2.4cmで歩留基準値77.1、BMS No.は今回最高の11番で「A-5」等級に格付されました。

外観は厚く幅が有り、長さも適度で、皮下脂肪の付着状態良好で、非常に体型の良い肉量に富んだ枝肉でした。切開面は、ロース芯と周囲筋に脂肪交雑が満遍なく入っており、肉色「3」番で、光沢があり、締りが良く、また、内面脂肪の付着状態も均等でむらなく、モモ抜けも期待できる名誉賞にふさわしい枝肉でありました。」

○一般牛の部

【最優秀賞】には新冠町 新冠町有牧野出品の去勢牛「鶴乃」号(父「北乃大福」)が選ばれました。外観は名誉賞同様、厚く幅が有り長さ適度で、良い外観をしており、ロース芯の脂肪交雑充分で光沢良好な枝肉になっておりました。特に脂肪質はしっかりとており大変良好でした。ただ名誉賞と比較しますと、ロース芯の形状に若干食い込み(ハート型)が有り、また、皮下脂肪の付着が厚くなっており、惜しくも最優秀賞といたしました。」

「北乃大福」産子が名誉賞と一般牛の部での最優秀賞を受賞しましたが、H黒-163「北百合忠」、H黒-189「北斗王」産子も好成績を収めました。「北百合忠」は新規検定済種雄牛利用を目的とした事業(道事業※1、当団事業※2)の対象牛を中心に出品していただきました。一般牛の部では最大出品頭数となる14頭(去勢・雌各7頭)の出品があり、BMS No.平均が去勢6.6、雌7.1と後代検定成績よりも良い結果を収め、優秀賞・優良賞に選出されました。

また「北斗王」は雌3頭のみ出品ではありましたが、BMS No.平均9.3、上物率100%と脂肪交雑の高い能力を発揮し、優良賞に選出されました。

○後代検定牛の部

「H黒-213「福忠勝」、H黒-216「鶴北福」、H黒-217「拓百合」、H黒-220「光忠平」産子が出品されました。

【最優秀賞】には新冠町 有限会社 上田畜産出品の去勢牛「安忠勝」号(父「福忠勝」)が選出されました。ロース芯の大きさが目立ち、中ザシで全体に満遍なく入っており、光沢良く良好な肉質になっておりました。特にバラの厚さが8.7cmで厚く、バラの中心部の筋肉である腹筋筋の厚さが

4.7cmと充実していたのが目立ちました。」

最優秀賞を受賞した産子の父「福忠勝」は、「あい」の初産産子が他の種雄牛の現場後代検定でBMS No.10を記録し、母方祖母の兄弟も5等級に格付されるなど産肉成績に優れた母系から生産された種雄牛です。

本共励会を終えた時点での成績は枝肉重量平均490kg、BMS No.平均7.3、上物率87.5%となっており、バランスの取れた能力を発揮している種雄牛です。平成28年1月の検定終了が待ち遠しい1頭です。

次に優秀賞・優良賞を受賞した「光忠平」は本共励会を終えて、枝肉重量平均479kg、BMS No.平均6.8、上物率76.5%となっています。枝肉重量に優れた気高系種雄牛で、平成28年3月検定終了予定です。

また、「拓百合」は一般出荷された枝肉成績を含め15頭の平均で、上物率100%、BMS No.平均7.2、枝肉重量449kgと注目されている種雄牛です。枝肉の張りの良さや安定した脂肪交雑能力が特徴で斉一性のある枝肉が出品されておりました。平成28年3月の検定終了に期待が寄せられます。

もう1頭「鶴北福」は現場後代検定材料牛頭数27頭のうち20頭が終了し、上物率80%、BMS No.平均6.6、枝肉重量444kg、枝肉の作り・脂肪の質の良い枝肉が多く出品されていることから、平成28年1月の検定終了が待ち遠しい1頭です。

最後に、本共励会の開催にあたり、ご協力いただいた肥育農家の皆様と関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

※1:一貫肥育農家を対象に道事業として実施した北海道和牛産地高度化促進事業。
※2:市場での産子確認を目的に当団で実施した新規種雄牛早期素牛生産推進事業。

第12回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 入賞牛一覧

褒賞	父		母の父	母方祖父	性別	月齢	格付	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	ばらの厚さ(cm)	皮下脂肪厚さ(cm)	歩留り基準(%)	BMS No.	市町村名/出品社名	
	略号	名号													
名誉賞	JB-24	北乃大福	平茂勝	安平	去勢	27.3	A5	485	76	9.1	2.4	77.1	11	大樹町/農事組合法人 サンエイ牧場	
一般牛の部	最優秀賞	JB-24	北乃大福	勝忠鶴	安平	去勢	27.7	A5	484	72	9.2	3.3	75.8	11	新冠町/新冠町有牧野
	優秀賞	H黒-163	北百合忠	北平安	平茂勝	雌	29.6	A5	493	88	8.2	1.6	78.7	11	幕別町/二瓶 義則
	優良賞	H黒-163	北百合忠	百合茂	平茂勝	雌	29.2	A5	458	76	8.4	2.5	76.9	9	幕別町/二瓶 義則
	優良賞	H黒-189	北斗王	福栄	寿高	雌	30.0	A5	447	73	8.7	3.7	75.8	11	新冠町/庄司 敏
後代検定牛の部	最優秀賞	H黒-213	福忠勝	安愚楽6	幸福栄	去勢	29.6	A5	534	85	8.7	2.2	77.6	10	新冠町/有限会社 上田畜産
	優秀賞	H黒-220	光忠平	若茂勝	安茂勝	去勢	28.3	A5	631	69	8.5	2.6	73.8	10	更別村/有限会社 美郷牧場
	優良賞	H黒-216	鶴北福	百合茂	菊照美	去勢	27.8	A5	501	56	7.3	2.9	72.7	9	豊頃町/安藤 誠
	優良賞	H黒-220	光忠平	福栄	平茂勝	去勢	27.4	A5	549	72	7.3	2.3	74.7	10	新冠町/庄司 敏

※敬称略

部門別枝肉成績表

【一般牛の部】

性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留り基準(%)	BMS No.	上物率
去勢	24	28.8	486.8	63.7	8.1	2.1	75.1	7.3	79.2%
雌	18	29.3	451.1	63.1	8.2	2.9	74.8	7.1	77.8%
全体	42	29.0	471.5	63.4	8.1	2.4	75.0	7.2	78.6%

【後代検定牛の部】

性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留り基準(%)	BMS No.	上物率
去勢	28	27.9	474.3	58.3	8.0	2.4	74.2	7.4	92.9%
雌	14	29.1	433.9	61.7	7.8	2.5	75.0	7.1	78.6%
全体	42	28.3	460.8	59.4	7.9	2.4	74.5	7.3	88.1%

【全体】

性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪厚(cm)	歩留り基準(%)	BMS No.	上物率
去勢	52	28.3	480.1	60.8	8.0	2.3	74.6	7.3	86.5%
雌	32	29.2	443.6	62.5	8.0	2.7	74.9	7.1	78.1%
全体	84	28.7	466.2	61.4	8.0	2.4	74.7	7.3	83.3%



前列左より

一般牛の部 最優秀賞 新冠町 新冠町有牧野
名誉賞 大樹町 農事組合法人 サンエイ牧場
後代検定牛の部 最優秀賞 新冠町 有限会社 上田畜産

後列左より

後代検定牛の部 優良賞 豊頃町 安藤 誠さん
後代検定牛の部 優秀賞 更別村 有限会社 美郷牧場
一般牛の部 優秀賞・優良賞 幕別町 二瓶 義則さん
一般牛の部・後代検定牛の部 優良賞 新冠町 庄司 敏さん



去勢 27.3ヶ月齢
ホクレン十勝枝肉市場上場

名誉賞

JB-24

きたのだいふく

北乃大福

安福(岐阜) × 谷美土井 × 田森土井

- ◆母の父:平茂勝
- ◆母の祖父:安平
- ◆肥育者:
大樹町/農事組合法人
サンエイ牧場
- ◆枝肉重量:485kg
- ◆ロース芯面積:76cm²
- ◆BMS No.11
- ◆格付:A-5



去勢 27.7ヶ月齢
ホクレン十勝枝肉市場上場

JB-24

きたのだいふく

安福(岐阜) × 谷美土井 × 田森土井

- ◆母の父:勝忠鶴
- ◆母の祖父:安平
- ◆肥育者:新冠町/新冠町有牧野
- ◆枝肉重量:484kg
- ◆ロース芯面積:72cm²
- ◆BMS No.11
- ◆格付:A-5

一般牛の部

最優秀賞



去勢 29.6ヶ月齢
ホクレン十勝枝肉市場上場

H黒-213

ふくただかつ

勝忠牛 × 福忠牛 × 福忠(宮崎)

- ◆母の父:安愚楽6
- ◆母の祖父:幸福栄
- ◆肥育者:新冠町/有限会社 上田畜産
- ◆枝肉重量:534kg
- ◆ロース芯面積:85cm²
- ◆BMS No.10
- ◆格付:A-5

後代検定牛の部

最優秀賞

第31回 北海道肉用牛共進会

9月6日から7日にかけて、安平町の北海道ホルスタイン共進会場において第31回北海道肉用牛共進会が開催されました。今回は全道各地より予選を勝ち抜いてきた精鋭である黒毛和種未經産86頭、経産29頭、群品16組(43頭)が出品され改良の成果を競いました。

審査は審査員長に公益社団法人 全国和牛登録協会 参与の池田和徳氏、審査員に同協会中央審査委員の栗生要氏と西部博寿氏が務められました。

【結果】

未經産最高位には第3部(生後13ヶ月以上15ヶ月未満)のJA豊頃町の(株)武隈BFが出品された「ひいらぎ5」号(父:勝忠平)、経産最高位には第7部(経産48ヶ月以上)のJA鶴川の(株)鎌田ファームが出品された「はるか1」号(父:平茂晴)がそれぞれ輝きました。

群出品には第10部(改良組合及び農協繁殖群 経産牛 3頭1群)に出品された池田町和牛生産改良組合の3頭1群(清水孝悦氏の「ふじな」号(父:忠富士)、「あやみ」号(父:百合茂)、神田博文氏の「むつき」号)が輝きました。

【当団種雄牛産子の活躍】

第2部(未經産、生後10ヶ月以上15ヶ月未満、北海道繋養種雄牛および北海道産種雄牛産子)では、9頭の「H黒-187 勝早桜5」産子を出品いただきました。1等賞



写真② 第2部206 1等賞2席「やすいとかつ」号 父:勝早桜5 JA足寄町/佐藤 耕一氏 所有

1席にはJA今金町の村瀬一人氏の「さくら」号(母の父:安福久)が選ばれました(写真①)。体幅・体深に優れ体積が十分であり、資質良く、骨締まりの良い出品牛でありました。



写真① 第2部204 1等賞1席「さくら」号 父:勝早桜5 JA今金町/村瀬 一人氏 所有

第5部(未經産、生後18ヶ月以上24ヶ月未満)では、3頭の「H黒-187 勝早桜5」産子を出品いただき、その全てが1等賞を獲得しました。1等賞1席には北海道和牛振興協議会会長でもあるJA今金町の佐藤弘一氏の「きき」号(母の父:H黒-80 北平安)が選ばれました(写真④)。当団種雄牛の「H黒-80北平安」産子を母体に「H黒-187 勝早桜5」を交配した北海道らしい血統でもある本牛は、体高に対する体幅、体深があり、体の輪郭鮮明さもある非常に種牛性の高い雌牛でありました。



写真③ 204&206



写真④ 第5部505 1等賞1席「きき」号 父:勝早桜5 JA今金町/佐藤 弘一氏 所有



写真⑤ 第5部509 1等賞3席「やすしげさくら」号 父:勝早桜5 JAあさひかわ江丹別支所/森内 恒夫氏 所有



写真⑥ 第5部508 1等賞4席「ことぶき2」号 父:勝早桜5 JA音更町/皆川 和彦氏 所有

第6部(経産、生後48ヶ月未満)では、JA幕別町の山田貴赦氏の「しらきたかつ」号(父:H黒-80 北平安、母の父:平茂勝)が1等賞1席に輝きました(写真⑦)。体伸び良く、体上線が強く、均称に優れた出品牛でありました。



写真⑦ 第6部611 1等賞1席「しらきたかつ」号 父:北平安 JA幕別町/山田 貴赦氏 所有

第8部(父系群)では「H黒-187 勝早桜5」産子2群の出品があり、第2・5部で1等賞1席を獲得したJA今金町の2頭のほか、佐藤弘一氏の「ももこ」号(母の父:安福)の3頭1群が見事1等賞1席に輝きました(写真⑧)。



写真⑧ 第8部 1等賞1席「勝早桜5」産子群

体深、体伸びが良く、月齢の差はあるものの発育のσ値で見ると非常に揃っている3頭でありました。

今回の北海道肉用牛共進会においては、当団種雄牛である「H黒-80 北平安」・「JB-24 北乃大福」・「H黒-187 勝早桜5」産子の出品をいただきました。過去の共進会と比較すると圧倒的に「勝早桜5」産子が多く、また2・5・8部の首席を獲得するという素晴らしい成績を確認することが出来ました。

平成29年には第11回全国和牛能力共進会(全共)が宮城県で開催されます。北海道では、第7区の総合評価群、第9区の去勢肥育牛の部に「勝早桜5」が候補牛として選ばれており、その他種牛の区においても「勝早桜5」を多く交配いただいております。今回の結果は、次の全共宮城県大会に向けて非常に期待の持てる結果となる共進会であると感じられました。